

岡山県の地震

令和5年(2023年)6月

目 次

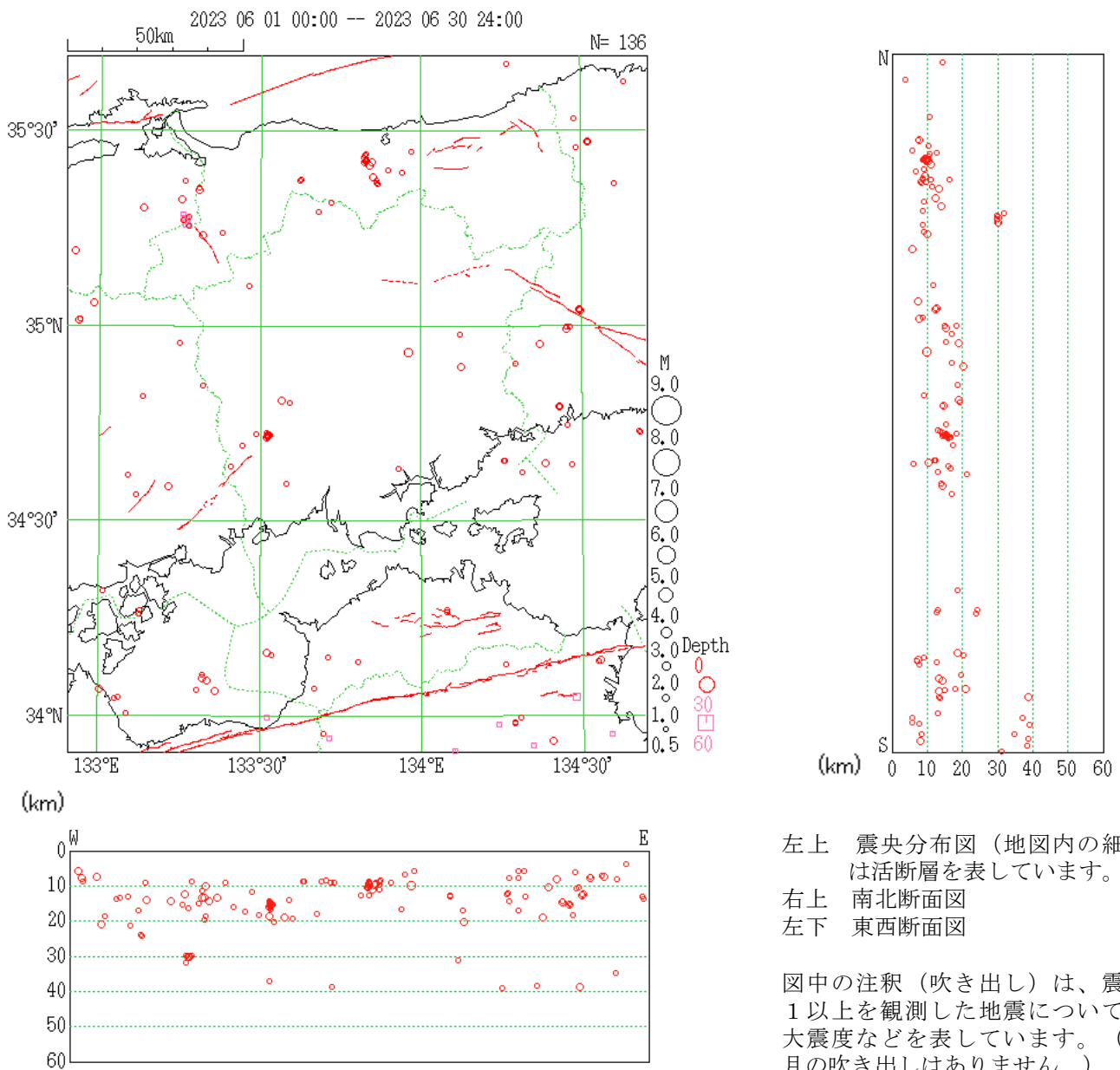
○岡山県及びその周辺の地震活動（6月）	
震央分布図及び断面図	… 1
概 況	… 1
岡山県において震度1以上を観測した地震の表	… 該当なし
岡山県において震度1以上を観測した地震の震度分布図	… 該当なし
○地震防災メモ No.210	
津波から身を守るための防災の心得	… 2～3

- 「岡山県の地震」は、月1回発行し、岡山県及びその周辺の地震活動をお知らせするとともに、適宜、社会的関心の高い地震について解説します。また、「地震防災メモ」により地震、津波に対する防災知識の普及等に努め、皆様のお役に立つことを目的としています。
 - この資料の震源要素、震度データは、再調査されたあと修正されることがあります。
 - 本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。
- また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

岡山地方気象台

岡山県及びその周辺の地震活動(6月)

震央分布図及び断面図



概況

6 月の概況

- ・上図の範囲内で 6 月に震度 1 以上の揺れが観測された地震は 0 回 (前月: 3 回) でした。
- ・岡山県で震度 1 以上の揺れが観測された地震は 6 月中に 0 回 (前月: 5 回) でした。

津波から身を守るための防災の心得

7月になると、夏休みのレジャーなどで、海に出かける機会が増えるのではないのでしょうか。暑い夏を海で楽しく過ごすために、ちょっとした防災の心得を確認しておきましょう。

海辺に居るとき、地震に遭遇したら>

緊急地震速報が流れるなど、強い揺れを伴う地震が発生した場合は、周囲の状況に応じて、慌てず、まず身の安全を確保してください。揺れがおさまったときには海辺や大きな河川の河口付近から離れ、より高い安全な場所へすぐに避難することが大切です。

津波について知る>

強い揺れ(震度4程度以上)を感じたり、弱くても長くゆっくりとした揺れ^{※1}を感じた時は、津波が発生するおそれがありますので直ちに高台等に避難しましょう。沿岸近くで津波が発生すると、数分内で襲ってくる可能性があります。津波は水深の深いところでは速く伝わり、水深が浅くなるとだんだんと遅くなって高さを増す性質があります。水深5000mのところでは、津波の速さはジェット機並みにもなります。沿岸近くでも秒速10m程度のスピードがありますので、津波を見てから逃げたのでは間に合いません。津波の力は非常に強く、膝下くらいの高さ(50cm程度)でも足元をすくわれて流される危険があります。

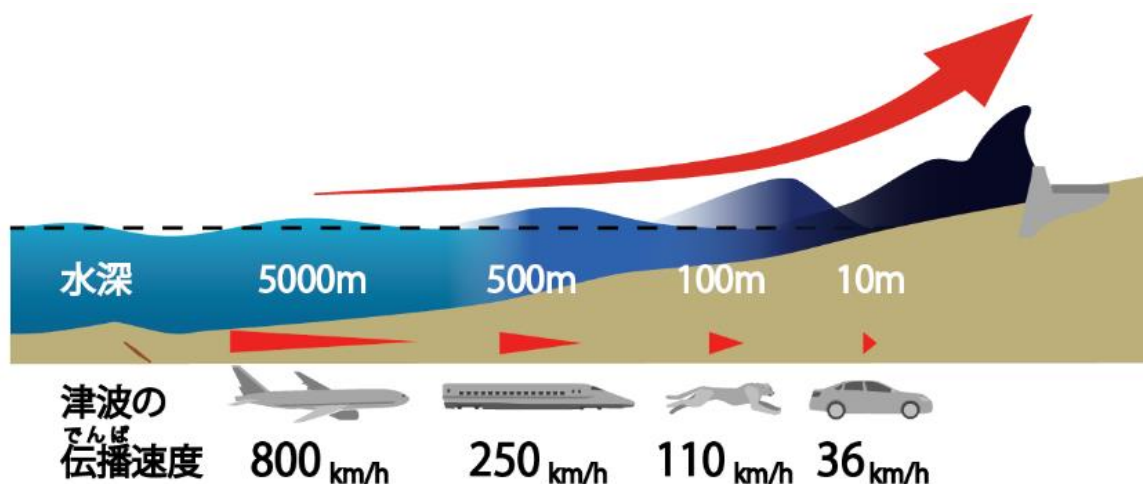


図1 水深と津波の速さの関係

津波は、いつも引き波から始まるとは限らず、押し波がすぐに来ることもあります。地震による揺れを全く感じなくても、津波警報や津波注意報が発表されたら、直ちに避難しましょう。津波は繰り返し襲ってきます。また、最初の津波が一番高いとも限りません。津波警報等が解除されて、安全な状態が確認できるまで、気を緩めずに避難を続けましょう。

津波に備える>

気象庁ホームページでは、防災情報を知り、有効活用していただくことを目的として、様々な動画資料を公開しています。その一つに津波防災啓発動画「津波に備える」※²があります。

東日本大震災を踏まえ、津波から命を守るために備えておきたい知識や避難のポイントを、実際の映像やCG、インタビュー等により解説しています(実際の地震や津波の動画映像も流れます)。

20分弱の全編版としては、日本語字幕版(やさしい字幕版もあり)、英語字幕版、中国語字幕版、韓国語字幕版や(日本語)手話版が用意されています。また、小項目毎に分けて説明した1分程度の短編動画版(17本)が用意されていますので、関心の深さや、視聴可能な時間に合わせてご覧下さい。

防災情報を入手できる準備を！>

走るなどの運動をしていると地震の揺れに気付きにくいことがあります。そういった時でもスマートフォンやラジオ等があれば、緊急地震速報や津波警報等を活用できますので、忘れずに携行することをお勧めします。また、避難後も情報を入手することにより、安全確認ができます。(状況によっては、もっと高いところへ避難しなければならない場合があります。)

津波フラッグについて>

津波警報等が発表されると、防災行政無線やサイレンなどでお知らせすることになっています。しかし、沖に出て離れていたり、風向きの影響が強かったりすると、それらの音が明瞭に届かず気付かないことがあります。そういう時は、視覚による伝達が有効です。

令和2年6月から海水浴場などでは、「津波フラッグ※³」による視覚的な伝達を行う取組みを展開しています。津波フラッグを用いることで、聴覚に障害をお持ちの方や、波音や風で音が聞き取りにくい遊泳中の方などにも津波警報等の発表をお知らせできます。岡山県内でも今夏のシーズン中、倉敷市と玉野市の海水浴場で津波フラッグの運用を行います。それらの海水浴場で、津波フラッグが所定の場所に掲げられたり、振られているのを見たときは速やかに避難しましょう。また、今後、津波フラッグを用いた訓練などがある場合にも積極的な参加をお願いします。



図2 津波フラッグ

※1 震度が小さくても、発生する津波の規模が大きくなる地震(津波地震)、および揺れの時間が長い地震を指しています。

※2 津波防災啓発動画「津波に備える」

https://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/tsunami_dvd_sonaeru/index.html

※3 津波フラッグについて https://www.data.jma.go.jp/egev/data/tsunami_bosai/tsunami_bosai_p2.html

※図1 水深と津波の速さの関係

https://www.data.jma.go.jp/egev/data/tsunami_bosai/index.html#tsunamiknow

※図2 津波フラッグ

https://www.data.jma.go.jp/egev/data/tsunami_bosai/tsunami_bosai_p2.html